

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	きっずデイ松伏			
○保護者評価実施期間	令和8年1月 15日		～	令和8年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数)	16名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 23日		～	令和8年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 5日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にを行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	きっずデイ松伏が大切にしている、「第二のお家・大家族」の兄弟姉妹の子ども達が、年下のお友達に、お兄さん、お姉さんになって、きっずデイ松伏のお約束事を教えてくれます。そのやりとりの光景に嬉しい成長を感じます。3歳～小学校中学年迄の子ども達が、お友達に優しく・笑顔で過ごせる「安心できる場所」になっていることです。	児童発達からの子どもが多く、小さなことでも自分でできた時には、みんなで褒めて・喜ぶ！小学校の子ども達とは、学校でがんばったことを、褒めて・一緒に喜ぶ！どんなことでも喜びますが、人を傷つけてしまう時など、悪いことをした時には、保護者様の気持ちとなり伝えたりと、大家族のアットホームな温かさを忘れない様にしています。	子ども達は日々成長していきます。常に寄り添いながら毎日毎日の情報量・吸収のスピードに着いていける様に、こども達の言葉・表情・行動から読み取り、リサーチしたり、情報を共有しながら、スタッフ間でコミュニケーションをたくさん取りながら、フットワークの軽いチームワーク・ワンチームでがんばっています。
2	ご利用日のご様子に関しては、連絡ノート・ケア記録の文章・写真を見ていただけますが、送迎時の保護者様との会話も大切にしております。「茶話会」「ファミリーフェスタ」等、スタッフ全員が保護者様との関わりを持つことができる場になりました。参加されたご家族様からも好評をいただき、次回の開催の力となっております。	「茶話会」「ファミリーフェスタ」等では、日頃のご家庭でのこども達の様子や保護者様のお悩み・役立つ情報等の共有の場になっています。兄弟姉妹様から、「きっずデイ松伏に行ってみたい」の願いを叶えられたことで、「第二のお家」としての位置の定着になったのではないかとおもいます。	こども達からの要望・保護者様からの要望等からの情報収集リサーチをしながら、さらに楽しんでいただける企画を日々考えています。
3	きっずデイ松伏と言えば、「外出レク」と思われる程です。児童発達の子どものお出掛けは、ファミリーレストラン等での外食レクから体験することにより、苦手な事柄を保護者様と一緒に協力しながら、本人が克服し自信に繋がる様なイベントとなっています。小学校入学後の「外出レク」が憧れでもある楽しみなこども達です。	保護者様からの情報・協力とともに、お迎え時の小学校の担任の先生からの情報も大変役に立っています。また、イベント後の情報共有で、さらなる楽しみとなっています。こども達からの声に耳を傾け、いろいろな経験のチャンスを提供できる様にスタッフ間の情報共有をしている。	大きなイベントの後は、毎回、大きなパワーをこども達から受け取っています。ひとり一人のうれしそうな声・満面の笑みが、スタッフの励みとなり、もっともっと！どんな事をしたら楽しませる事ができるかの原動力となり、日々の療育に対する姿勢となっています。 こども達を楽しませるには、自分も楽しまなくては！！

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	こども達の年齢の幅が広いので、学習タイムでの各自の取り組み・季節の制作・全体レクリエーションのプログラムの提供に関しては、こども達の満足度の差があると感じる時もある。内容に関しては、いくつかのパターンを用意する様にしている。こども達がレクカレンダー・個別療育カレンダーを見ながら、毎日のレクを楽しみにしている。	固定のご利用日で、平日に関しては人数のバラツキがほとんどなく、年齢が上がるほど入室時間が遅くなり、学習タイム「宿題」に係る時間が多くなるため、どちらかと言うと簡単なレクリエーションになりがちであったが、タイムスケジュールを見直して、バランスを取っている。9月以降、個別療育が行えなくなっている。	今後は、児童発達・放デイでの全体レクを分けて楽しむプログラムと、全員で楽しむプログラムを提供していく予定です。
2	ほぼ毎日利用のこども達が多いので、本当の家にいる感じにリラックスした発言、また、気を引く発言等があり笑いもあるが、時には「悪いこと」もありますが、調子にのった発言や行動を、未就学児が楽しいこと・おもしろいことと捉えて真似をすることが多い。	児童発達達の未就学児から小学校中学年迄の年齢層の幅が広いので、「良いこと・悪いこと」の判断・区別が付きにくくなっている。	今後は、児童発達・放デイでの全体レクを分けて楽しむプログラムと、全員で楽しむプログラムを提供していく予定です。
3	所有の送迎車4台で、4ヶ所の小学校のお迎えに行っています。学年・曜日によっては、同じ小学校に2回から3回のお迎えとなりタイトなスケジュールになっています。	系列の「きっずデイゆめ」が定員がいっぱいとのももあり、きっずデイゆめ店への移行ができていない。 早い段階から、話し合いを重ね調整していきたい。	今後も、ひとり一人の成長を考えながら、保護者様と一緒に将来を見据えながら、きっずデイ松伏からの卒業・きっずデイゆめ店へのスムーズな移行ができる様にしていく。